

平成19年度 第2回和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成19年10月9日(火) 市役所南別館4階 第1研修室		
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 山東 越子 廣谷 行敏 南出 和寛 山西 良子 五十音順		
審議対象期間	平成19年4月 1日～平成19年6月30日		
抽出案件(総件数)	建設総務 8 件 水道局 1 件	議 事 1 入札及び契約手続の実績状況等の報告 2 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議 3 その他	
一般競争入札 (事前審査型)	建設総務 - 件 水道局 - 件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	建設総務 - 件 水道局 - 件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	建設総務 - 件 水道局 - 件		
公募型指名競争入札	建設総務 - 件 水道局 - 件		
指名競争入札	建設総務 8 件 水道局 1 件		
随意契約	建設総務 - 件 水道局 - 件		
委員からの意見・ 質問,それに対 する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建 議の内容	なし		

和歌山市入札監視委員会
平成19年度 第2回会議録

<p>議事第1号 入札及び契約手続の実績状況等の報告</p>	<p>事務局説明</p>
<p>議事第2号 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議</p>	<p>廣谷委員より抽出の経緯について報告</p>
<p>(建設総務課分) [指名競争入札] ・道路修繕工事 小倉地区小倉ほか6か所 ・道路修繕工事 宮前地区から三田地区まで</p>	<p>事務局(建設総務課)抽出事案の概要説明</p> <p>委員：除草作業ということですが、小倉地区である紀の川沿いの方は落札率が高く、宮前地区である和田川沿いの方は落札率が低いという結果ですね。和田川の方は、今回2者が75.85%で、次順位者が94.82%となっていますね。低い落札率で応札した2者を除けば大体94%台になっていますね。今年度から地区割を変更したのですか。</p> <p>事務局：はい。変更しています。小倉地区・和佐地区・東山東地区の3地区でしたが、西和佐地区も追加し、同じ発注金額の対象業者も11者から17者に増加しております。</p> <p>委員：宮前地区・三田地区では、75.85%となっていますが、この地区では落札率が低い傾向にあるのですか。</p> <p>事務局：今回は、通常の指名する地区割がまたがりましたので、宮前地区の業者と三田地区の業者を指名しております。通常の地区割においても、落札率は低い傾向です。</p> <p>委員：地域性があるのですね。</p> <p>委員：この工事は、面積に違いがありますが、同</p>

<p>[指名競争入札]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒田第4公園設計業務委託 ・布施屋駅前公園測量設計業務委託 ・施設設置工事(歩道設置・交差点改良)測量設計業務委託 ・小倉地内線設計業務委託 ・岩橋地内線測量設計業務委託 	<p>じ設計価格になっているのですか。</p> <p>事務局：施工単価は同じです。</p> <p>委員：㎡あたりの単価が同じということですね。</p> <p>委員：工事費内訳書を集計した表を見ると直接工事費は、市の設計単価と比較して宮前・三田地区の業者より小倉地区の業者の方が高く、一般管理費も同様の傾向ですね。紀の川の斜面より和田川の斜面の方が堤防の傾斜がきつようですが、小倉地区の方が施工に手間がかかるということが考えられますね。工事費内訳書は目安にならないように思われますが、いかがですか。</p> <p>事務局：工事費内訳書を提出させる事は、適正な積算が期待できるためであると考えています。</p> <p>委員：全体的に入札に関する資料が増えています。国土交通省では、総合評価落札方式を行っていて事務量がものすごく増えているようです。必要でないものは、省いてもいいのではないのでしょうか。</p> <p>事務局：今後、検討していきます。</p> <p>事務局(建設総務課)抽出事案の概要説明</p> <p>委員：設計を行っている業者は10者ぐらいですか。</p> <p>事務局：はい。10者です。年間の件数としまして10件程度です。</p> <p>委員：新規で参入させる業者はないのですか。</p> <p>事務局：指名するにあたり、一定の基準を設けています。1者、2者ほどの追加が可能かどうかという状況です。</p> <p>委員：業務の内容に違いがあるのに、常に落札率が90%前後となっていますね。業者が本当</p>
--	--

<p>(水道局分) [指名競争入札] ・建設工事に係る入札方式別発注工事 一覧表(建設工事・指名競争入札・平 成19年4月1日~平成19年6月 30日)(建設工事・指名競争入札・ 平成18年4月1日~平成18年6 月30日)の比較</p> <p>議事第3号 その他</p> <p>次回の日程について</p>	<p>に積算して見積もっているのか。少し疑問に 思われますね。予定価格も公表し、業者間の 見積りにばらつきあまりないようですね。今 回は指名競争入札ですので、期間限定で一般 競争入札にするなど、対策を検討してくださ い。次回に回答してください。</p> <p>事務局：はい。</p> <p>事務局(水道局)抽出事案の概要説明</p> <p>委員：昨年の同時期と比べると、指名競争入札の 落札率が極端に下がっていますが、現場の施 工は大丈夫ですか。また、事務量に問題はあ りませんか。</p> <p>事務局：経理課では、全ての工事の現場を調査しま す。調査基準価格を下回る入札の場合は、契 約締結後、経理課職員が現場へ2回以上調査 に伺うと共に、工事完成後、低入札調査積算 資料と工事完成実績を対比する資料の要求及 び下請代金の支払状況まで調べています。ま た、工事成績評定点を見る限りでは、昨年度 と今年度に余り差がないので落札率が下がっ ても工事の施工には問題はないと思われま す。入札に係る事務量につきましては、開札 事務に時間がかかるものの、昨年度と同じ2 ~3名の職員で対応できています。</p> <p>事務局：次回(第3回入札監視委員会)の日程につ いては平成19年11月下旬を予定しており ます。</p>
---	--